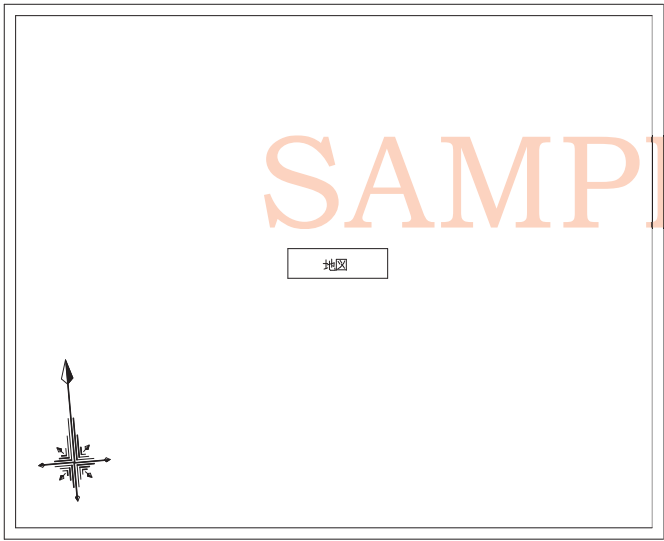


別添図 1

改修工事における図面作成例

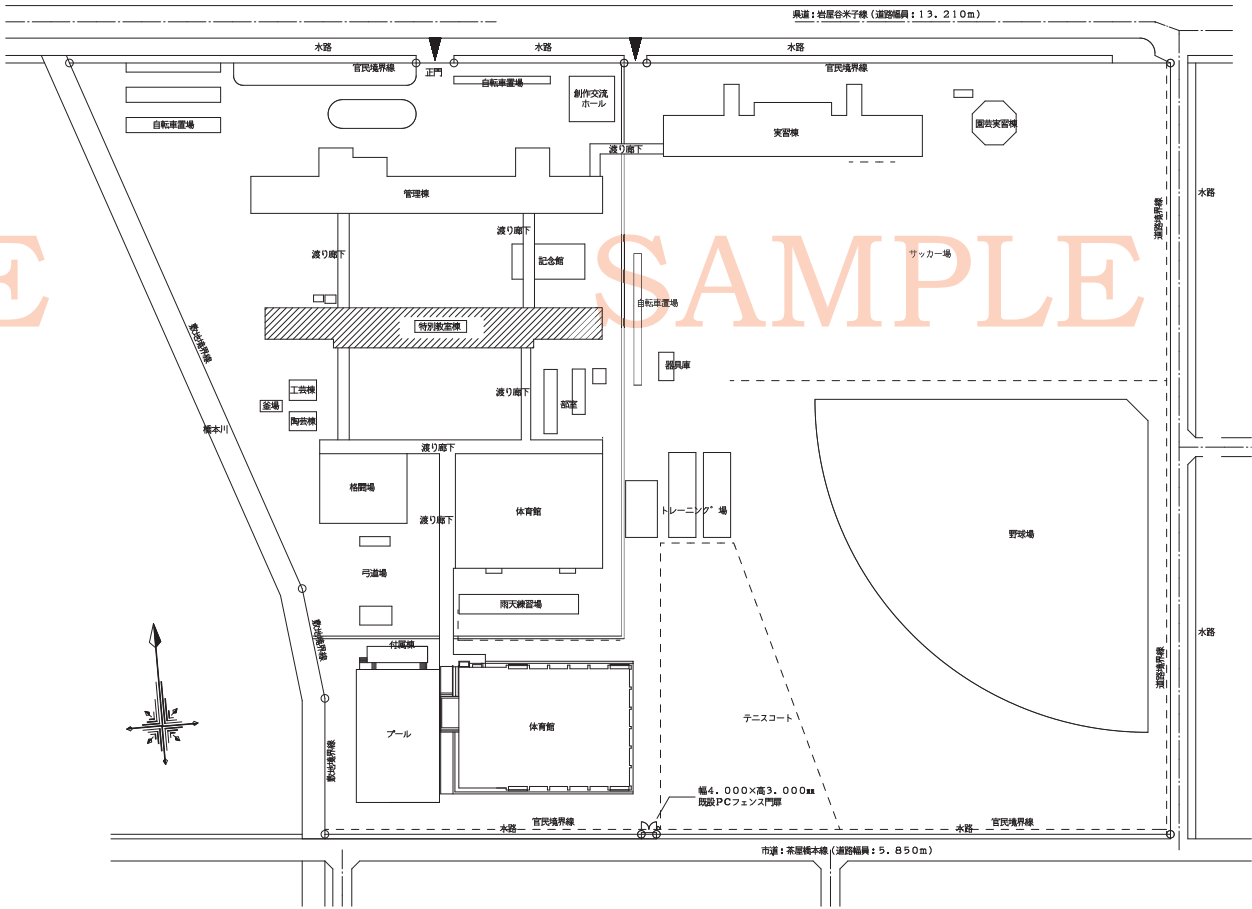
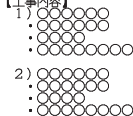
※この作成例は、改修工事における対象部分の明示方法の例を示したもので、改修内容の例を示すものではありません。



地区

案内図

【工事内容】



配置図 S=1/1,000

凡例

	改修建物を示す
---	---------

工事名称、図面名称、図面縮尺、図面番号、建築士事務所名称、設計者名等 記載欄
鳥取県総務部営繕課

共通事項

1 各項目の実況及びその適用は特記仕様書Ⅱ、2、特記仕様による。

2 (O-○○)、(○-○○○)は参照詳細図(令和4年度)の詳細番号(以下「詳細番号」という)を示す。

3 特記以外の修繕箇所、取替等については、SOP(F☆☆☆☆)とする。

4 各図面に示す略号は下表による。

5 L.P-1、L.P-2、L.P-3の位置は平面図による。

6 階段室の天井仕上げは最上階の天井仕上げを示し、段差は特記による。

7 室名を「 」で囲んだ室は、化学物質の漏洩測定の測定対象室及び測定箇所数を示す。
(記入用)

8 測定対象室 → 測定箇所 ← 測定箇所数

8 間仕切りの取替等の位置は平面図による。

略号

仕上材等

略号

仕上材等

RC()

床：コンクリート打設し(補剛)

RC-WB

コンクリート-収容ボード

RC-GW-B

ガラスウール-収容ボード

CB

コンクリートブロック積み

SOP

合成樹脂鋼管ペイント塗り

ECP

押出成形セメント板

CL

クリヤラックー塗り

ビニル床シート、タイルの背割防止機能付きの略号は(E)とする

NAD

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り

FS

捲簾ビニル床シート

DP

耐候付塗料塗り

KT

コンポジションビニル床タイル

TT

木製ビニル床タイル

PT

捲簾ビニル床タイル

EP-G

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

FOA

産物とビニル床タイル

EP

合成樹脂エマルションペイント塗り

FOB

産物産物とビニル床タイル

EP-T

合成樹脂エマルションペイント産物産物塗り

UC

ウレタン樹脂付ニス塗り

WP

木材保護塗料塗り

VB

ビニル幅木

WB

木製幅木

GB-R

セッコウボード

S-PR

セッコウプラスター塗り

GB-NC

不燃積層セッコウボード(化粧無し：下張り用)

D-PR

フロマイアプラスター塗り

GB-NC(T)

不燃積層セッコウボード(化粧有り：トラバーチン模倣)

GB-D

化粧セッコウボード(トラバーチン)

GB-S

シーディングセッコウボード

SR

吹付けロックワール(不燃材料)

GB-F

強化セッコウボード

SR(B1)

吹付けロックワール-被覆耐火構造 はり 1時間

ケイカル板(P)

被覆用/防火無気孔セメント/耐火ケイカルシウム板

SR(P1)

吹付けロックワール-被覆耐火構造 柱 1時間

ケイカル板(P)

被覆用/防火無気孔セメント/耐火ケイカルシウム板

LP-1

軽量鉄骨壁下地：一般壁(2-21-1)

DR

ロックワール化粧収容板(フラットタイプ)

LP-2

軽量鉄骨壁下地：一般壁(2-22-1)

DR(凹凸)

ロックワール化粧収容板(凹凸タイプ)

LP-3

軽量鉄骨壁下地：通気壁(2-23-1)

DR(軒天凹凸)

ロックワール化粧収容板(軒天井用：凹凸タイプ)

DR(軒天凹凸)

ロックワール化粧収容板(軒天井用：凹凸タイプ)

PF板

ポリスチレンフォーム断熱材

外部仕上げ

床

特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上材種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

タイル

(1-01-6)

RC

(1-01-3：増打厚さ10mm)

天然石(ひき石)

(1-01-9、1-01-10)

モルタル、防水モルタル

(1-01-1)

防蟻ブロッコ

(1-01-7)

壁、柱、はり

特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上材種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

外装タイル密着剤

(2-01-4)

RC

(2-02-7、2-02-11)

天然石(ひき石)

(2-02-1、2-02-2)

モルタル、防水モルタル

(2-02-12)

塗材

(2-02-7、2-02-11)

(1) 改修後のコンクリート打設しの出隅取りは20mm、出隅内面取りは20×20mmとする。

(2) 改修後の下り壁の仕上げは壁と同じとする。

床

床壁、柱、はりに同じとする。

屋根

特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

改修前(既存)の仕上材種別

改修工法

改修後の仕上材種別

軒天

特記以外の下地及び詳細番号は下記による。

仕上材種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

DR

(3-01-4)

RC(軒天凹凸)

(3-01-9)

金属板形張り

(1) 改修後の軒のDR(軒天)、DR(軒天凹凸)の下張りはGB-S 厚さ12.5mmとする。

庇

床壁、柱、はり、屋根、軒天と同じとする。

内部仕上げ

床

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上材種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

FS、KT、PT

(1-01-4：仕上り+増打厚さ10mm)RC

タイル

(1-01-5)・(1-01-6)

カーペット

(1-02-4)・(1-02-5)

たみ

(1-02-3)

天然木化粧複合フローリング

(1-02-8)

RC、床用塗料、防蟻用塗料

(1-01-3：増打厚さ10mm)RC

モルタル、防水モルタル

(1-01-1)防水モルタル厚さ※15×30

(1) フリーアクセスフロア下地の場合は(1-02-14：防蟻用塗料※※※※※)とする。

幅木

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上材種別

既存

高さ(mm)

改修後

高さ(mm)

VB

(2-11-1、2-11-9)

6.0

WB(密着 形状 -)

(2-11-4)：CL仕上げ

FS(ビニル床シート立ち上げ)

(2-11-2)

柱・壁

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上材種別

既存詳細番号

改修後詳細番号

ボード張り(RC又はCB下地)

(2-01-2)

内装タイル(RC又はCB下地)

(2-02-12)

収容材張り(RC又はCB下地)

(2-02-13)

(1) 下地の略号のボード厚さ等以外は特記による。

改修後

略号

高さ(mm)

備考

厚さ(mm)

備考

GB-R

12.5

壁紙張りの場合は継目処理(2-03-2、2-03-7、2-03-11、2-03-16)とする。塗装仕上げ又は仕上げを行わない場合は突き付け(2-03-3、2-03-8、2-03-12、2-03-17)とする。(二重張りは特定張り取り下張りは上張りと同様のボードとする)

ケイカル板

・6

突付け(V目地)

・8

(2-03-17：下張りはGB-S)

(2-03-12：下張りは・GB-S・ケイカル板)

(2) 改修後の下り壁(3-12-1)の仕上げは壁と同じとする。ただし、下張りは無しとする。

(3) 改修後のボード壁とRC又はCB壁との取合いは(2-24-3、2-24-4、2-24-7)とする。

(4) 改修後のボード壁とタイル取合いは(2-24-8)とする。

(5) 軒天(6-46-1)の壁はGB-R厚さ12.5mm突付け工法(2-03-4、2-03-9)塗装無しとする。

(6) 軽量鉄骨壁下地に陶器質タイルを張りつける場合のボードは、下張りはGB-Sとする。

(7) 化粧ケイカル板を使用する場合の目地処理は(2-04-1)とし、ジョイナーの材質は(・塩化ビニル・アルミ製)とする。

・化粧ケイカル板・6.0(接合部改修工法(内装タイル下地))木目調塗料 程度(シール目地)

天 井

(1) 軽量鉄骨天井下地は(3-21-1、3-21-2、3-21-3、3-41、3-42)とする。

(2) 下地の略号のボード厚さ等以外は特記による。

略号

既存

厚さ(mm)

改修後

厚さ(mm)

DR

(3-01-4)

・9・12

DR(凹凸)

(3-01-4)

ケイカル板

(3-01-2)

6

GB-NC(T)

(3-01-2)

9.5

GB-D(T)

(3-01-2)

9.5

RW又はGW張り

(3-01-12)

25

(3) 天井の仕上げが壁紙張りの場合は突付け工法(3-01-7、8)、塗装仕上げの場合は目直し工法(3-01-1、3)とする。

(4) 押入(6-46-1)の天井はGB-R厚さ12.5mm突付け工法(3-01-2)塗装無しとする。

(5) 改修後の壁-天井の取合いは天井付き目地(3-11-3、3-11-4、3-11-7、3-11-8)とする。

(6) DRの下張りは ※GB-R厚さ(※12.5mm・9.5mm)・GB-NC厚さ9.5mmとする。

(7) 改修後のGB-NC(T)、GB-D(T)の大きさは ※910×455mm・910×910mm

(8) 軽量鉄骨天井下地に開口部を設ける場合の補強は(3-41及び3-42)による。

下地の区分欄の略号

C：コンクリート下地 CB：コンクリートブロック下地 S：軽量鉄骨下地 W：木造下地 PF：ポリスチレンフォーム(床下地のみ) M：モルタル下地 OA：フリーアクセスフロア B：ボード張

T：タイル75角下地

アス

アスベスト含有建材を示す

既 存 外 部 仕 上 げ

床

改修内容

壁

改修内容

壁・柱

改修内容

屋根

改修内容

庇上端

改修内容

庇下端

改修内容

庇はな

改修内容

—

→

防水形増層仕上材E

E

押えコンクリート

E

防水モルタル

E

外装弾塗材E

E

防水モルタル

E

改 修 後 外 部 仕 上 げ

床

改修内容

壁

改修内容

壁・柱

改修内容

屋根

改修内容

庇上端

改修内容

庇下端

改修内容

庇はな

改修内容

—

→

防水形増層仕上材E

e

AS-T3(トーチ工法)(POAS工法)

e

X-2断取(POX工法)

e

外装弾塗材E

e

X-2断取(POX工法)

e

既 存 内 部 仕 上 げ

階

室 名

下地

床

改修内容

下地

幅木(腰)

改修内容

下地

壁

改修内容

下地

天 井

改修内容

備 考

1

男子便所

M

モザイクタイル

C

→

M

75角タイル

K

S

GB-R79.0の上、EP

C

改 修 後 内 部 仕 上 げ

階

室 名

下地

床

改修内容

下地

幅木(腰)

改修内容

下地

壁

改修内容

下地

天 井

改修内容

備 考

1

男子便所

M

FS72.0

c

VB(2-11-1)

a

T

化粧ケイカル板・6.0(内装タイル下地)

a

S

GB-NC(T)

c

1

女子便所

M

モザイクタイル

C

→

M

75角タイル

C

S

GB-R79.0の上、EP

C

1

女子便所

M

陶器質タイル50角

C

M

→

M

陶器質タイル100角

c

S

GB-NC(T)

c

改修内容凡例

A：仕上げ撤去

B：図示の仕上げ撤去

C：下地共撤去

D：図示の下地共撤去

E：下地の剥離

F：図示の下地剥離

G：建築図の下地剥離

H：図示の建築図の下地剥離

I：取替し

J：図示部分の取替し

K：既存のまま

a：仕上げ取替

b：図示の仕上げ取替

c：下地共取替

d：図示の下地共取替

e：下地剥離後仕上り取替

f：図示の下地剥離後仕上り取替

g：建築の取替

h：図示の建築の取替

i：再取付け

j：図示の再取付け

k：既存のまま

※改修内容を容易に把握するため、改修前後を横に並べて表示することに。

工事名称、図面名称、図面縮尺、図面番号、建築士事務所名称、設計者名等 記載欄

鳥取県建設部営繕課

